

第76期 事業報告書

令和5年4月1日～令和6年3月31日まで



未来をこの街とともに

湖東信用金庫

ごあいさつ



理事長 矢島 之貴

盛夏の候、会員の皆さまには、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

令和5年度第76期の決算のご報告を申し上げるにあたり、平素のご愛顧とお引き立てに対し、厚く御礼申し上げます。

さて、令和5年度のわが国経済は、コロナ禍から脱却して社会経済活動の正常化が進むに伴い、緩やかな回復が続いております。

他方、海外情勢は、ウクライナや中東等をはじめとする地政学リスクの増大、中国経済の先行き懸念、欧米の金融引締め動向等といった不確実性が高い状況が続いており、わが国の景気を下押しするリスクが引き続き懸念されています。

こうした状況の中、信用金庫による中小企業等への事業者支援の重要性は更に増しており、ゼロゼロ融資の返済本格化を踏まえた資金繰り支援や経営改善支援はもとより、販路拡大、ビジネスモデルの再構築、事業承継、人材確保、更にはDX・GX対応への伴走支援など、ソリューション提供機能の充実に努め、顧客と地域社会が抱える様々な課題解決に貢献し続けていくことが求められています。

このような金融経済環境の中、令和5年度は、「ことし『支援力の強化と変革への挑戦』3か年計画」の最終年度として、また創立75周年事業として①地域課題解決に貢献する、②金庫の課題解決に取り組む、③働き甲斐のある職場にする、ことを目標に会員、お客様、そして地域の課題解決を通じて地域社会全体の成長を目指して活動してまいりました。

令和6年度は、新3か年計画「未来を拓く変革への挑戦」が始まります。目指すべき姿を「当金庫は、会員、お客さま、そして職員をはじめとする地域のすべての人の成長と幸せのために行動し、協同組織の地域金融機関として地域が抱える課題解決に貢献し、持続可能な地域社会を創る」とし、地域課題解決などの項目を加えた①営業推進態勢の進化による収益力の強化、②人材の計画的育成による現有戦力のレベルアップ、③小規模事業者向け小口多数融資の推進による地域経済の活性化と地域課題解決への貢献、④金庫の課題解決に向けた組織力の強化の4つの戦略を柱として、当金庫の収益性の向上と地域金融機関として地域経済と自らの持続可能性を高めることに継続して取り組んでいく所存であります。

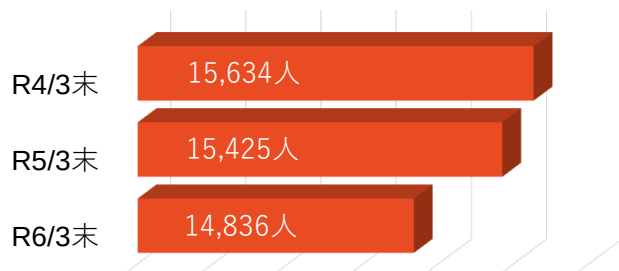
今後とも、より一層のご支援お引き立てを賜りますよう心からお願い申し上げます。

令和6年7月

湖東信用金庫

事業の概要

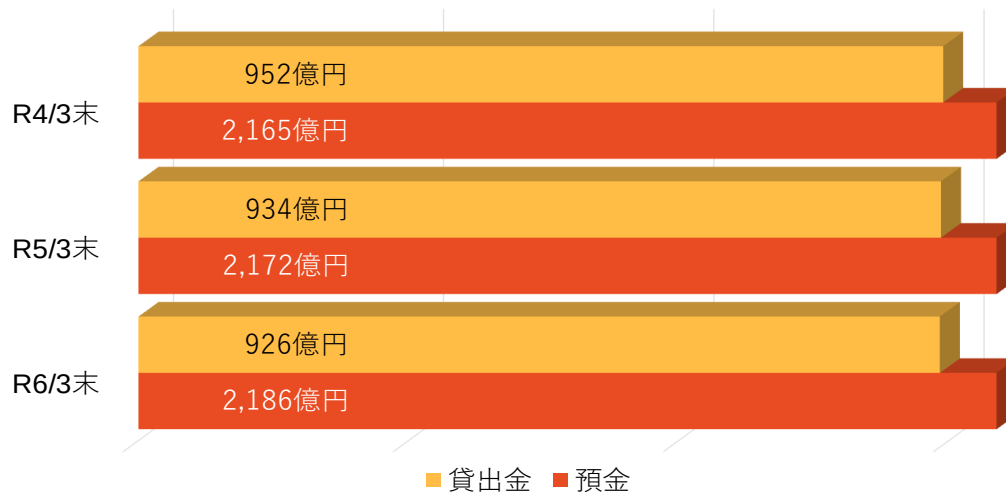
● 会員数



● 出資金

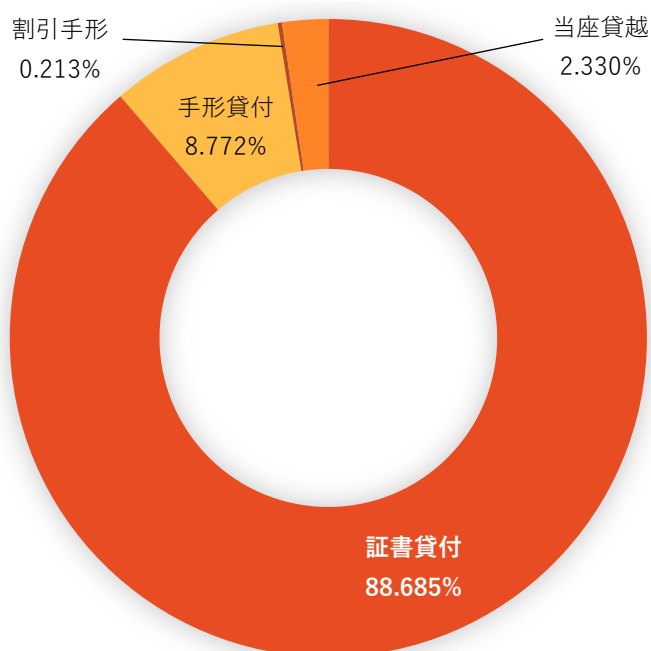


● 預金・貸出金の推移



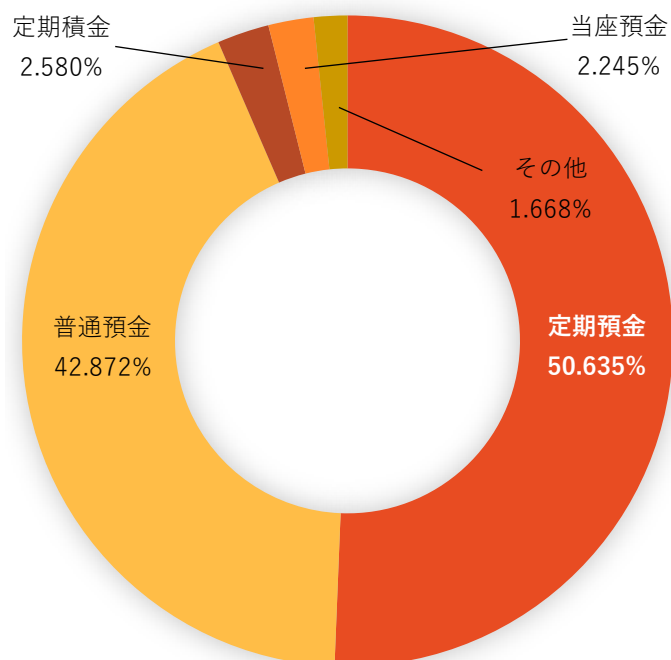
● 貸出金の構成（令和 6 年 3 月末）

合計 92,607,547 千円



● 預金の構成（令和 6 年 3 月末）

合計 218,669,770 千円



自己資本比率(国内基準)

		(単位：百万円、%)	
項	目	当期末	経過措置による 不算入額
コア資本に係る基礎項目（１）			
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額		11,862	－
うち、出資金及び資本剰余金の額		646	－
うち、利益剰余金の額		11,228	－
うち、外部流出予定額（△）		12	－
うち、上記以外に該当するものの額		－	－
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額		107	－
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額		107	－
うち、適格引当金コア資本算入額		－	－
適格旧資本調達手段の額のうち、経過措置（自己資本比率改正告示附則第3条第7項）によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額		－	－
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、経過措置（自己資本比率改正告示附則第4条第3項）によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額		－	－
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45%に相当する額のうち、経過措置（自己資本比率改正告示附則第5条第5項）によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額		－	－
コア資本に係る基礎項目の額		(イ) 11,969	－
コア資本に係る調整項目（２）			
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）の額の合計額		58	－
うち、のれんに係るものの額		－	－
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額		58	－
繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額		－	－
適格引当金不足額		－	－
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額		－	－
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額		－	－
前払年金費用の額		114	－
自己保有普通出資等（純資産の部に計上されるものを除く。）の額		－	－
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額		－	－
少数出資金融機関等の対象普通出資等の額		－	－
信用金庫連合会の対象普通出資等の額		－	－
特定項目に係る10%基準超過額		－	－
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額		－	－
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額		－	－
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額		－	－
特定項目に係る15%基準超過額		－	－
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額		－	－
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額		－	－
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額		－	－
コア資本に係る調整項目の額		(ロ) 172	－
自己資本			
自己資本の額（（イ）－（ロ））		(ハ) 11,797	－
リスク・アセット等（３）			
信用リスク・アセットの額の合計額		87,039	－
資産（オン・バランス）項目		86,676	－
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額		－	－
うち、他の金融機関等の対象資本調達手段に係るエクスポージャーに係る経過措置（自己資本比率改正告示附則第12条第6項）を用いて算出したリスク・アセットの額から経過措置を用いず算出したリスク・アセットの額を控除した額		－	－
うち、上記以外に該当するものの額		－	－
オフ・バランス取引等項目		283	－
CVAリスク相当額を8%で除して得た額		80	－
中央清算機関関連エクスポージャーに係る信用リスク・アセットの額		0	－
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額		4,454	－
信用リスク・アセット調整額		－	－
オペレーショナル・リスク相当額調整額		－	－
リスク・アセット等の額の合計額		(ニ) 91,494	－
自己資本比率			
自己資本比率（（ハ）／（ニ））		12.89 %	－

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第 89 条第 1 項において準用する銀行法第 14 条の 2 の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当かどうかを判断するための基準(平成 18 年金融庁告示第 21 号)」に基づき算出しております。
 なお、当金庫は国内基準を採用しております。

自己資本比率について

自己資本比率は高いほど健全な財務体質であるといわれています。

平成 10 年 4 月から導入された早期是正措置により海外に店舗を有する金融機関は BIS 基準である 8%以上、それ以外の国内金融機関は 4%以上が求められています。

おかげさまで当金庫の自己資本比率は、12.89%と基準値（4%）を十分クリアしており引き続き経営の健全性を堅持しております。

第76期 貸借対照表

令和6年3月31日現在		(単位：百万円)
科 目	金 額	
資 産 の 部		
現 金	2,616	
預 け 金	53,066	
買 入 金 銭 債 権	375	
金 銭 の 信 託	207	
有 価 証 券	75,514	
国 債	6,410	
地 方 債	6,843	
社 債	27,492	
株 式	7	
そ の 他 の 証 券	34,760	
貸 出 金	92,607	
割 引 手 形	197	
手 形 貸 付	8,123	
証 書 貸 付	82,128	
当 座 貸 越	2,157	
そ の 他 の 資 産	1,619	
未 決 済 為 替 貸	69	
信 金 中 金 出 資 金	1,219	
未 収 収 益	254	
そ の 他 の 資 産	75	
有 形 固 定 資 産	3,766	
建 物	1,943	
土 地	1,590	
リ ー ス 資 産	-	
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	232	
無 形 固 定 資 産	58	
ソ フ ト ウ ェ ア	47	
そ の 他 の 無 形 固 定 資 産	10	
前 払 年 金 費 用	114	
繰 延 税 金 資 産	194	
債 務 保 証 見 返	336	
貸 倒 引 当 金	△742	
(う ち 個 別 貸 倒 引 当 金)	△635	
資 産 の 部 合 計	229,735	

		(単位：百万円)
科 目	金 額	
負 債 の 部		
預 金 積 金	218,669	
当 座 預 金	4,909	
普 通 預 金	93,747	
貯 蓄 預 金	2,991	
通 知 預 金	15	
定 期 預 金	110,724	
定 期 積 金	5,640	
そ の 他 の 預 金	639	
借 用 金	646	
借 入 金	646	
そ の 他 の 負 債	528	
未 決 済 為 替 借	115	
未 払 費 用	21	
給 付 補 填 備 金	1	
未 払 法 人 税 等	12	
前 受 収 益	77	
払 戻 未 済 金	14	
払 戻 未 済 持 分	1	
職 員 預 り 金	171	
リ ー ス 債 務	-	
資 産 除 去 債 務	66	
そ の 他 の 負 債	46	
賞 与 引 当 金	105	
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	176	
偶 発 損 失 引 当 金	53	
債 務 保 証	336	
負 債 の 部 合 計	220,515	
		(単位：百万円)
科 目	金 額	
純 資 産 の 部		
出 資 金	646	
普 通 出 資 金	646	
利 益 剰 余 金	11,228	
利 益 準 備 金	649	
そ の 他 利 益 剰 余 金	10,578	
特 別 積 立 金	9,231	
当 期 未 処 分 剰 余 金	1,347	
会 員 勘 定 合 計	11,875	
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△2,655	
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	△2,655	
純 資 産 の 部 合 計	9,220	
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	229,735	

第76期 損益計算書

令和6年3月31日現在		(単位：千円)	
科	目	金	額
経	常 収 益		2,516,433
	資 金 運 用 収 益	1,999,128	
	貸 出 金 利 息	1,405,244	
	預 け 金 利 息	109,064	
	有 価 証 券 利 息 配 当 金	459,143	
	そ の 他 の 受 入 利 息	25,675	
	役 務 取 引 等 収 益	306,010	
	受 入 為 替 手 数 料	82,584	
	そ の 他 の 役 務 収 益	223,426	
	そ の 他 業 務 収 益	105,075	
	国 債 等 債 券 売 却 益	65,594	
	そ の 他 の 業 務 収 益	39,480	
	そ の 他 経 常 収 益	106,218	
	貸 倒 引 当 金 戻 入 益	71,435	
	償 却 債 権 取 立 益	9,059	
	株 式 等 売 却 益	16,677	
	金 銭 の 信 託 運 用 益	7,075	
	そ の 他 の 経 常 収 益	1,969	
経	常 費 用		2,239,900
	資 金 調 達 費 用	27,322	
	預 金 利 息	19,869	
	給 付 補 填 備 金 繰 入 額	672	
	借 用 金 利 息	5,902	
	そ の 他 の 支 払 利 息	877	
	役 務 取 引 等 費 用	166,011	
	支 払 為 替 手 数 料	23,217	
	そ の 他 の 役 務 費 用	142,794	
	そ の 他 業 務 費 用	63,043	
	国 債 等 債 券 売 却 損	61,254	
	そ の 他 の 業 務 費 用	1,788	
	経 費	1,925,284	
	人 件 費	1,181,351	
	物 件 費	655,377	
	税 金	88,555	
	そ の 他 経 常 費 用	58,238	
	貸 出 金 償 却	38,331	
	金 銭 の 信 託 運 用 損	-	
	そ の 他 の 経 常 費 用	19,907	
経	常 利 益		276,532
特	別 利 益		17
	固 定 資 産 処 分 益	17	
特	別 損 失		3,426
	固 定 資 産 処 分 損	3,426	
税	引 前 当 期 純 利 益		273,123
法	人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	31,761	
法	人 税 等 調 整 額	△24,022	
法	人 税 等 合 計		7,738
当	期 純 利 益		265,385
繰	越 金 (当 期 首 残 高)		1,082,079
当	期 未 処 分 剰 余 金		1,347,464

第76期 剰余金処分計算書

令和6年3月31日現在		(単位：円)
科	目	金 額
当	期 未 処 分 剰 余 金	1,347,464,965
	繰 越 金 (当 期 首 残 高)	1,082,079,441
	当 期 純 利 益	265,385,524
利 益 準 備 金 限 度 超 過 取 崩 額		2,970,500
剰 余 金 処 分 額		212,828,327
	普 通 出 資 に 対 す る 配 当 金 (年2%)	12,828,327
	特 別 積 立 金	200,000,000
繰 越 金 (当 期 末 残 高)		1,137,607,138

以上のとおりであります。

湖東信用金庫

令和6年6月

理 事 長 矢 島 之 貴 常 務 理 事 藤 原 英 治

常 勤 理 事 大 川 浩 司 常 勤 理 事 植 木 敏 生

常 勤 理 事 古 賀 朗 続 常 勤 理 事 黒 川 重 宣

常 勤 理 事 田 井 中 覚 理 事 (非 常 勤) 山 本 英 司

理 事 (非 常 勤) 寺 嶋 嘉 孝

以上の各項を監査し、その正確なることを認めます。

令和6年6月 常 勤 監 事 八 田 博 之

監 事 (非 常 勤) 梅 本 顕 宏

員 外 監 事 大 林 傳 治

庶務の概要

総代会

令和 5 年 6 月 16 日 第 75 回通常総代会開催

報告事項 第 75 期（令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで）業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件

決議事項

第 1 号議案 第 75 期（令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで）剰余金処分案承認の件

第 2 号議案 所在不明の会員除名の件（定款第 15 条第 2 項）

第 3 号議案 退任理事に伴う理事選任の件

理事 田井中 覚

第 4 号議案 退任理事に対する退職慰労金贈呈の件

以上、第 1 号議案より第 4 号議案まで原案通り承認可決されました。

庶務事項

令和 5 年	6 月	創立 75 周年記念事業「ことしん経済講演会」開催
	7 月	「創立 75 周年記念定期預金」の取扱開始
	9 月	創立 75 周年記念事業「認知症予防セミナー」開催 「Bank Pay」「ことら送金」の取扱開始
	11 月	「創立 75 周年記念定期預金（第 2 弾）」の取扱開始
令和 6 年	2 月	省エネ設備投資利子補給金対応商品「エナジーサポート」の取扱開始

総代会制度について

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は（株式組織の銀行などと異なり）出資口数に関係なく、一人一票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。

しかし、当金庫は会員数が 1 万 6 千人弱であることから、総会の開催は事実上不可能であり、そこで、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算の取扱い業務の決定、理事、監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は総会と同様に、会員一人ひとりの意思が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

また、当金庫では、総代会に限定することなく、日常の事業活動を通じて総代や会員とのコミュニケーションを大切にし、さまざまな経営改善に取り組んでおります。

総代とその選任方法

(1) 総代の任期・定数

- ・ 総代の任期は3年です。
- ・ 総代の定数は、70人以上90人以内で、会員数に応じて選任区域ごとに定数が定められています。
- ・ 令和6年6月14日現在の総代数は、75人で、会員数は14,829人です。

地 区	選 任 区 域	総 代 数
第1区	蒲生郡日野町および東近江市（旧蒲生町）	13名
第2区	東近江市（旧五個荘町・旧能登川町）	14名
第3区	東近江市（旧永源寺町）	4名
第4区	甲賀市、湖南市、栗東市	12名
第5区	東近江市（旧八日市市・旧湖東町・旧愛東町）、近江八幡市、彦根市、長浜市、守山市、草津市、大津市、愛知郡、犬上郡、蒲生郡竜王町、野洲市、米原市、高島市	32名

(2) 総代の選任方法

総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。そこで、総代の選考は「総代候補者選考基準」に基づき、次の3つの手続きを経て選任されます。

- ① 会員の中から総代候補者選考委員を選任する。
- ② その総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
- ③ その総代候補者を会員が信任する。（異議があれば申し立てる。）

会員みなさまへ

日頃お気付きの点、ご意見等がございましたら、総務部までご連絡ください。

—[お願い]—

お届けのご住所または居所等に変更が生じた際には、当金庫までご連絡ください。ご連絡がないことによって、当金庫がお客（会員）様に発信した通知が到着せず、継続して返送されてきた場合には、以後の通知は行わないことがございますのでご了承ください。

令和 6 年 6 月 14 日

会 員 各 位

湖 東 信 用 金 庫
理事長 矢島 之貴

第 76 期通常総代会決議ご通知

拝啓 初夏の候、会員各位にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、格別のお引き立て、ご愛顧に預かり厚く御礼申し上げます。
さて、本日開催の総代会において、下記の通り決議されましたのでご通知申し上げます。

敬具

記

報告事項 第 76 期（令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで）業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件

決議事項

- 第 1 号議案 第 76 期（令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで）剰余金処分案承認の件
第 2 号議案 会員除名の件（定款第 15 条第 1 項）
第 3 号議案 所在不明の会員除名の件（定款第 15 条第 2 項）
第 4 号議案 総代候補者選考委員選任の件
第 5 号議案 任期満了に伴う理事および監事選任の件
次の通り選任されました。

理事	矢島 之貴	藤原 英治	大川 浩司
	植木 敏生	古賀 朗統	黒川 重宣
	田井中 覚	中野 雅人	寺嶋 嘉孝
監事	北川 真	梅本 顕宏	大林 傳治（員外監事）

- 第 6 号議案 退任理事および退任監事に対する退職慰労金贈呈の件

以上、第 1 号議案より第 6 号議案まで原案通り承認可決されました。

また、同日開催の理事会並びに監事会で、次の通り代表理事並びに常勤理事、常勤監事が互選されたのでお知らせいたします。

理事長(代)	矢島 之貴	常務理事(代)	藤原 英治	理事	大川 浩司
理事	植木 敏生	理事	古賀 朗統	理事	黒川 重宣
理事	田井中 覚	理事	中野 雅人	理事(非常勤)	寺嶋 嘉孝
監事	北川 真	監事(非常勤)	梅本 顕宏	監事(非常勤)	大林 傳治

なお、非常勤理事・相談役 山本 英司ならびに常勤監事 八田 博之は退任いたしました。
在職中賜りましたご懇情に対しまして厚く御礼申し上げます。

以 上